

平成30年7月1日
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦フレンズ 対 三苦三球会
敗れはしたものの、13奪三振を挙げた三苦三球会 池上紘生投手 (19)。

写真：三友クラブ 大坪 和則

雁レク7 ジャガーズの反撃を振り切り、レッド勝利！

塩浜ジャガーズ (1勝4敗) 000030 3 立石●、久保田、立石一竹尾

レッドサンデーズ (3勝2敗) 30011X 5 塚本○、古賀一八島、神田

2BH：高嶺、田中 (塩浜ジ) **盗塁**：川原、八島、古賀、田浦 (レッド)

前日の雨の影響でグラウンドがぬかるんでいる中始まったこの試合。レッドサンデーズ先発の塚本投手は初回をきっちり三人で打ち取る完璧な立ち上がりを見せる。この流れのまま攻撃に入ったレッドは、塩浜ジャガーズ先発の立石投手の立ち上がりを攻める。一番川原選手がセンター前にしぶとく落とすと、すぐさま盗塁を仕掛け、続く二番八島選手の強烈なレフト前ヒットでチャンスを広げる。このチャンスにクリーンナップが三者連続タイムリーを放ち、幸先よく3点を先制する。このままレッドが得点を重ねていくかと思われたが、立石投手が二回のレッドの攻撃を三者連続三振に取り、試合の流れを渡さない。何とか反撃したいジャガーズだが、塚本投手の二塁を踏ませない完璧な投球の前になかなか得点することが出来ない。レッドが四回に1点を加え、再び流れを持って行ったかと思われたが、五回にジャガーズが反撃に出る。この回から登板のレッド古賀投手からチャンスを作り、九番田中選手、三番立石選手のタイムリーで3点を奪い、1点差まで詰め寄る。追加点の欲しいレッドはその裏に途中から出場の稲又選手がヒットで出塁し、バッテリーミスに付け入り大きな1点を挙げる。しかしジャガーズも諦めず喰らいつき、四球とヒットで一二塁とする。一発出れば逆転という場面だったが、最後は古賀投手が意地を見せ反撃もここまで。レッドが粘り強く守り切り、勝利を手にした！

(記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗)



グラウンドがめがるむ中の試合スタート。



レッドサンデーズ先発 塚本投手。



塩浜ジャガーズ先発 立石投手。



一回裏、鋭いヒットを放つレッド 八島監督。



一回裏、先制のホームイン、レッド 川原選手。



四回表、チャンスを作ったジャガーズ二番 道喜選手。



五回表、レッドのリリーフ 古賀投手。



五回表、得点を喜ぶジャガーズベンチ。



最終回到板したジャガーズ久保田投手。



五回裏、今季初打席でヒットを放ち喜ぶレッド稲又選手。

奈多グラウンド 両投手の奪三振ショーの行方は・・・。

三苦フレンズ（5勝1敗）2000010 3 山口○ー佐藤（由）

三苦三球会（3勝3敗）0000000 0 池上●ー藤澤

三苦フレンズ山口投手、三苦三球会池上投手の好投手先発で試合開始。初回フレンズは相手エラーとヒットで一死一三塁のチャンスをつとめ、相手バッテリーミスと五番佐藤（博）選手のタイムリーで2点を先制。その裏、三球会も二死から三番濱口選手が二塁打でチャンスを作るが、後続が倒れ無得点。その後両チーム投手の奪三振ショーが始まり、チャンスがなかなか生まれない。そのチャンスが先に生まれたのは・・・フレンズ。一死から山口投手が四球を選び出塁。二死二塁となり御手洗選手の打球はショートへ。送球が悪送球となり1点が入る。更にその際打球を処理した、三球会の上村遊撃手が送球時に足を負傷してしまい途中交代となってしまう。悪い流れを変えたい三球会であったが、チャンスをつとめることができず、そのまま試合終了。フレンズ山口投手15奪三振、三球会池上投手13奪三振。両投手の奪三振が目につく試合となった。その中でもフレンズ佐藤（博）選手、三球会濱口選手がお互い2安打と活躍していた。（記事：三友クラブ 山本 健一、写真：大坪 和則）



試合前の両チーム集合写真。



三苦三球会先発 池上投手。



一回表、バッテリーエラーでフレンズが先制。



三苦フレンズ先発 山口投手。



三球会 唯一の安打者 濱口選手。



ショートゴロ送球時に負傷し交代の上村選手。



初回タイムリーを含む2安打の佐藤（博）選手と15奪三振で勝利の山口投手。

青松園Aの新町ウインズ対ソルトベイスターズ戦と、青松園Bの雁の巣ライナーズ対奈多フェニックス戦は、雨によるグラウンド不良で試合延期。

第10週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第10週、7月1日はグラウンド不良で青松園の2試合が中止になり、2試合が行われました。

雁レク7の塩浜ジャガーズ対レッドサンデーズ戦は、レッドが一回裏5連打で3点を奪うと、投げては塚本投手がジャガーズ打線を四回まで無得点に抑える。しかし、仕事の都合で塚本投手、八島捕手を含む二、三、四番打者が球場を後にすると、代ったレッド古賀投手にジャガーズ打線が襲い掛かり3点を返す。しかし、終盤にも1点ずつ重ねたレッドが3-5で逃げ切った。途中退出の三人が初回到りにヒットを放ち、無失点で切り抜けるなどレッドとしては理想的な展開に持ち込めたと言えよう。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対三苦三球会戦は、初回に相手ミスと佐藤選手のタイムリーで2点を挙げると、山口投手が圧巻の15奪三振の完封勝利。三球会の池上投手も13奪三振を奪い善戦したが、山口投手が無死四球に対して5四球と若さが出たか？しかしその勢いは三球会浮上の原動力になることは間違いない。試合は六回表にノーヒットで相手ミスに乗じて追加点を挙げたフレンズが3-0で勝利。

短時間で記録的な豪雨をもたらした梅雨前線の動きが気になりますが、早め早めの行動で自己や怪我を未然に防ぎましょう。

7月7日（土）に予定されていた今年で100周年を迎える夏の高校野球の福岡県大会開会式ですが、福岡ドームでの開催にも関わらず、この豪雨の影響で学校が避難所と化していたり、来れない高校もあったため中止となりました。